



芝山小だより



7月号
清瀬市立芝山小学校
校長 寺井 俊敬
<http://www.kiyose.ed.jp/>

宿泊行事を通して学んだこと

校長 寺井 俊敬

令和6年度がはじまり、丸3か月が経ちました。一番日の長い夏至は過ぎましたが、本格的な暑さはこれからです。学校では、水分補給を促したり、空調を活用したりして、熱中症に気を付けながら過ごしています。

さて、6月は5年生の「立科移動教室」、6年生の「日光修学旅行」と宿泊行事がありました。私は、毎年の出発式で以下のような内容について話しています。

「皆さんに大切にしてほしいことがあります。それは、「友達と協力して生活すること」「感謝の気持ちをもつこと」です。…皆さんの先輩たちも、この宿泊行事を通して、一回りも二回りも成長してきました。皆さんも、この宿泊行事を通して成長してほしいと思います。」

家族旅行では、「〇時の新幹線(飛行機)に乗る」、「〇〇ホテルに泊まる」と、計画的に行程を考えて旅行されるご家庭が多いかと思います。一方、多くのご家庭では、途中で何かおいしいものがあれば「食べてみようか。」となったり、おもしろそうな観光施設(イベント)があれば、立ち寄りたくなったりしたことがあるのではないのでしょうか。

しかし、学校の宿泊行事は違います。計画に沿って行動していきます。一人が5分集合時刻に遅れると、全体の行程が5分遅れてしまったり、活動時間が5分短くなってしまったりすることがあります。学校では、毎日給食で昼食をいただいていますので、食事に関しては比較的スムーズにできるのですが、一緒にお風呂に入ったり、布団の上げ下ろしをしたりする経験は、日常の学校生活ではないのでかなり大変です。また、宿泊行事では、バスの運転手さん、ガイドさん、見学施設の方、宿舎の方等々本当に大勢の方にお世話になります。宿泊行事では、みんなで協力する大切さ、たくさんの方にお世話になることを学びます。

このように述べると、宿泊学習が厳しいもののように聞こえてしまうかもしれませんが、決してそのようなことはありません。私は、毎年3学期になると、6年生とグループ懇談会を行います。その中で「小学校生活での思い出は何ですか。」と聞くと、必ずと言っていいほど、「立科移動教室です。」「日光修学旅行です。」という子供たちが大勢います。私が「なぜですか。」と聞くと、「立科のハイキングがよかったです。」「日光東照宮がよかったです。」「部屋で友達と話をすることができた(カードゲームをした)からです。」等、日常では味わえない自然や観光施設、家族旅行とは違う友達とのかかわりがあります。卒業していった先輩たちは、日常では味わえない体験をもとに、一回りも二回りも成長して、その後の学校生活を豊かに過ごしていました。

今年度の5年生、6年生ともに、今回の宿泊行事を通して大きく成長してくれました。きっとたくさんの素晴らしい思い出ができたことと思います。高学年の子供たちが、これからの学校生活で下級生をリードしていってくれること、また、卒業時の懇談会で、楽しい話が聞けることを期待しています。

毎年のことではありますが、残念ながら病気等で当日お休みされるお子様もいます。ぜひ、中学校での修学旅行等で友達と過ごす経験をしてほしいと願っています。

1年生から4年生の子供たちも、きっと宿泊行事で成長してくれるでしょう。

保護者の皆様もぜひ、楽しみにしててください。

それぞれの宿泊行事の様子は学校ホームページ「令和6年度校長室より」に掲載していますので、ご覧いただきたいと思います。



6年生日光修学旅行 日光東照宮にて